

成果指標				
成果指標	健康増進事業の利用者数(健康相談+健康教育+訪問指導+がん検診)を実績指標とする。			
指標設定の考え方	健康増進事業への参加者数の増加は、健康増進活動への意識の向上に繋がる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	11000	12510	12550	0
実 績	12446	10430	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	健康増進のためには、ライフステージ等個々の生活スタイルに見合った健康づくりの方法を見つけ、継続した取組みが必要です。個人の健康づくりに対する意識を向上させると共に、地域においても健康づくりの輪が広がることが大切だと思われまます。健康増進事業に参加する全体数を増やすことの難しさはありますが、参加された方の満足度を上げることで、継続した事業の参加に繋げ、知人等への呼びかけに繋がっていきけるのではないかと考えます。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	健診が健康づくりの第一歩として市民に定着し、健康づくりに関心を持つ市民が増え、健康寿命の延伸が図られるよう第2次健康づくり計画に沿って、事業を継続していくことが重要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	さらに利用率、受診率の向上に努める。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。